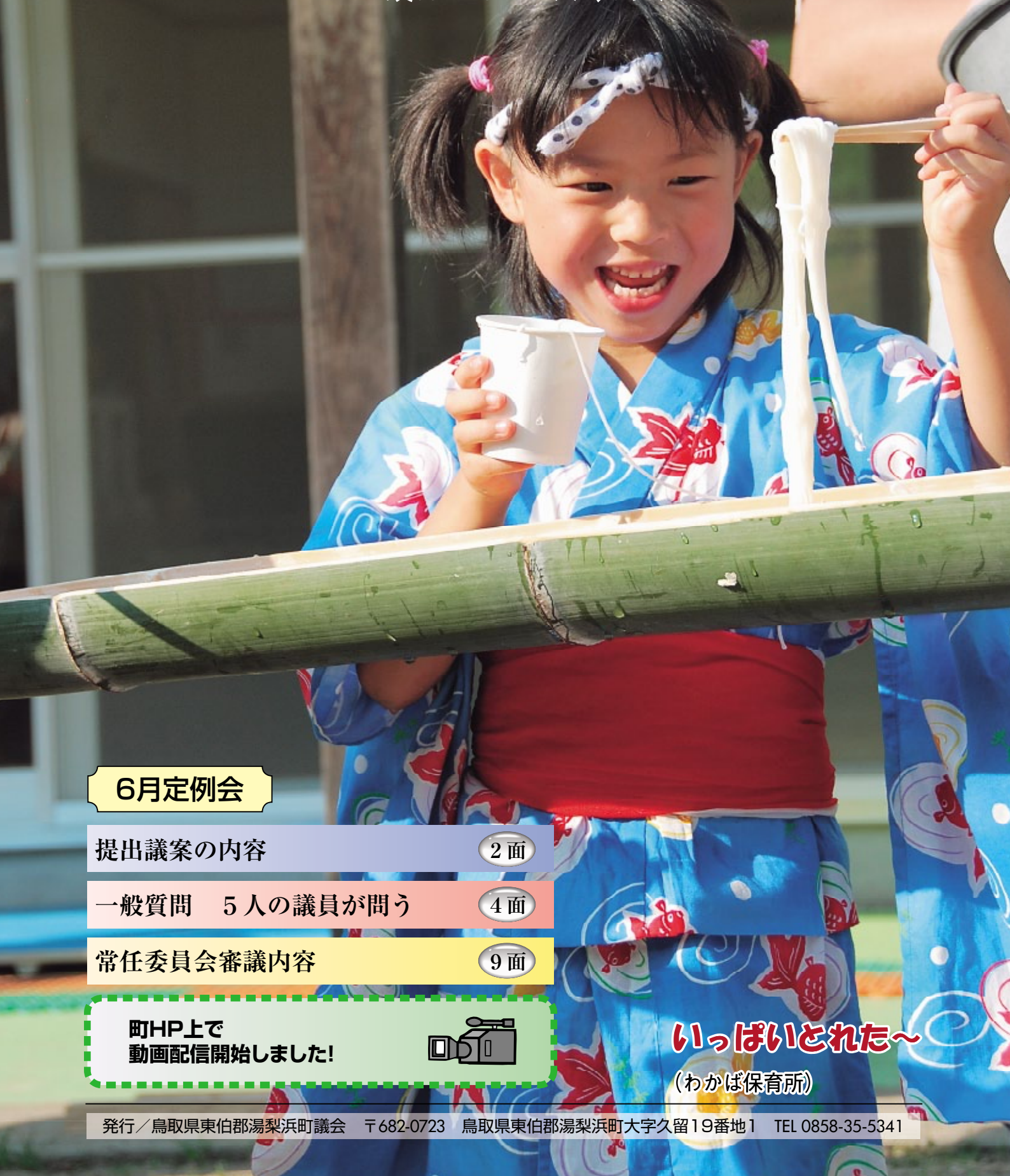




6月定例会

提出議案の内容

2面

一般質問 5人の議員が問う

4面

常任委員会審議内容

9面

町HP上で
動画配信開始しました!



いっぱいとれた～

(わかば保育所)

幼保一 体化施設建設用地で問題発生

地盤改良へ約1000万円の追加措置

※10ページに
幼保一体化
施設工事関
連記事。

平成23年 第7回 6月定例会

平成23年6月定例会が、
6月17日から6月23日まで
の7日間の会期で開催され
ました。

今議会に提案された平成
23年度各会計補正予算、
工事請負契約の変更など議
案は、原案どおり可決（同
意）しました。

また、財団法人ゆりはま
温泉公社ほか、各公社の経
営状況など7件の報告も受
けました。

太陽光発電に追加補助

補正予算

☆一般会計

歳入歳出それぞれ22
56万4千円を追加し、
予算総額を87億2056
万9千円とするもの。

主な内容は、職員の異
動に伴う人件費補正、マ
イクロバス修繕費、住宅
用太陽光発電システム導
入補助金、ふれあい共生
ホーム運営補助金、緊急
通報システム整備費、農
産物直売ビジネス支援補
助金、農道維持改良等事
業、水産物輸送コスト軽
減補助金、学校支援ボラ
ンティア推進費用など。



ふれあい共生ホーム（アロハデイサービスあずま園）

☆国民健康保険事業特 別会計

歳入歳出それぞれ32万
3千円を減額し、予算総
額を17億9125万5千

円とするもの。

内容は、職員の異動に
伴う人件費補正。

☆介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ56万
1千円を減額し、予算総
額を15億7810万6千
円とするもの。

主な内容は、人事異動
に伴う人件費の減額、要
介護度4・5の在宅高齢
者介護家庭（町民税非課
税世帯）に対し、介護用
品購入助成券を交付する
事業の追加補正。

☆下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ37
4万2千円を追加し、予
算総額を14億2110万

2千円とするもの。

主な内容は、私有地内
下水道布設に伴う用地購
入費など。

☆農業集落排水処理事 業特別会計

歳入歳出それぞれ16万
4千円を追加し、予算総
額を1億9232万6千
円とするもの。

内容は、職員の異動に
伴う人件費補正。

☆簡易下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ1万
6千円を減額し、予算総
額を6251万7千円と
するもの。

内容は、制度改正によ
る人件費補正。

☆長瀬財産区特別会計

歳入歳出それぞれ30万円を追加し、予算総額を129万8千円とするもの。

内容は、水子区公民館の修繕補助金。

☆橋津財産区特別会計

歳入歳出それぞれ23万7千円を追加し、予算総額を77万6千円とするもの。

内容は、橋津地区公民館を修繕するための負担金の増額。

☆国民宿舎事業特別会計

収益的支出に7千円を追加し、総額を3億6261万円とする。

資本的収入に100万円を追加し、総額を100万円とする。

資本的支出に104万1千円を追加し、総額を8687万7千円とするもの。

主な内容は、館内のキッズスペース、授乳ソファ、オムツ替え台の整備など。

☆水道事業会計

収益的支出を528万8千円減額し、総額を1億7192万2千円とするもの。

内容は、人事異動に伴う人件費補正。

報告

☆各公社の経営報告

ゆりはま温泉公社、羽合温泉開発公社、鳥取県中部町土地開発公社について、それぞれの経営状況（平成22年度事業報告及び決算並びに平成23年度事業計画及び予算）についての報告がされた。

☆各会計繰越計算書

平成22年度の3つの会計について、それぞれ繰越計算書の報告がされた。



着々と工事が進む「幼保一体化施設」

【一般会計】

幼保一体化施設建設事業、北浜中学校屋内運動場改修事業など、総額10億8712万6千円を、平成23年度に繰越。

【下水道事業特別会計】

中継ポンプ場機能低下防事業など、総額1736万9千円を繰越。

【水道事業会計】

配水施設工事費、1億8837万1千円を繰越。

☆教育行政の点検及び評価の報告

湯梨浜町教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成22年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告した。

その他

☆倉吉市との間における定住自立圏形成協定の一部変更

協定項目に「救急医療体制の充実」を加えるもの。

☆工事請負契約の変更

幼保一体化施設新築工事に係る、変更契約の締結について可決。

請負契約金額
(992万9千850円の増額)

変更前

3億7359万円

変更後

3億8351万

9千850円

人事案件

湯梨浜町橋津財産区管理委員の辞任に伴う後任に次の方が選任され、これに同意した。（敬称略）

戸崎 彦兵衛

（赤池）

5人の
議員が問う

一般質問

ここが
聞きたい!

平成23年6月定例会の一般質問は、第4日目の
6月20日（月）に行われた。

質問議員5人が登壇し、町政全般について熱心
に議論を展開した。



6月定例会本会議（議場風景）

Q 地域福祉の推進は

A 反省点を踏まえ工夫する

実態やニーズ把握の手法
をどう考えておられるの
か伺う。

答弁（町長）

地域福祉計画の性格
上、各個別計画での具
体的な実践が優先して、全
体のまとめ役的な役割が

発揮できたとは言えな
い。

最終年度にあたり、こ
うした反省点を踏まえ、
次期計画では、社会福祉
協議会や関係団体の皆さ
んの意見も伺いながら策
定する。

それとともに、計画周
知のためのリーフレッ
ト、町報、あるいはホー
ムページへの掲載も、よ
りメリハリをつけたわか
りやすいものにする工夫
が必要と考えている。

障がい者福祉計画、介
護保険事業計画・老人福
祉計画、健康よりはま21
計画、また、これらの上
位計画と位置づけられて
いる地域福祉計画の計画
年が今年度で終了する。
各計画の事業の評価検証
を伺う。

次期計画の策定に向
け、それぞれ着手されて
いると思うが、計画策定
に向けて町民の方にどれ
ほど注目されているのか
疑問に思う。啓発活動な
どはどうしておられるの
か伺う。

また、町民・当事者の



浜中武仁 議員



「活性化センターはまなす」で開催された
老人クラブ福祉大会

Q東日本大震災の教訓は

A防災計画を見直す



上野昭二 議員

東日本大震災は、自治体がこれまで整備していた防災マニュアルが機能しなかった点や、指定していた避難所の安全性や、収容規模の問題なども露呈するなど、様々な

点で防災体制の見直しなどが求められており、それについて伺う。

- ① 現行の防災マニュアルは、どの程度の被害規模を想定したものか。
- ② 島根原発の事故や故障等による災害は想定しているか。
- ③ これからの財政運営や経営方針の見直しは考えているか。



「水明荘」前に設置されている大火害記録柱

答弁（町長）

- ① 東日本大震災を受け、県では、津波の想定高などを含め防災計画の見直しが検討されており、本町もそれらを踏まえ防災計画の見直しに取り組みたい。
 - ② 島根原発からは距離も離れており、想定はしていない。
 - ③ 国の財政状況からみて、来年度以降も交付税や国庫補助金などが減額となることが危惧され、さらに、平成27年度から段階的に交付税が減額され、厳しい財政運営が続くものと思われる。
- 今後も財政健全化に向け取り組んでいく。



瓦礫撤去後の宮城県石巻市の状況

Q間違った公文書は

A解決に向け努力する

建築確認申請書類において、都市計画法第53条及び第65条の取り扱い上、間違った文書を町が発行し、県も見逃すというダブルミスが判明。しかし、行政協議の結果

「民間等の経済活動へは影響を与えていない」ということで、不問に付すようだが、それについて伺う。

- ① 平成17年から現時点の取り扱い総件数と、間

違いの件数は。

- ② 今回の措置は、町行政として公正といえるか。

- ③ 将来的に、その他の公文書においても間違いがあった場合、或いは今後見つかった場合、同様な措置を講じるのか。

答弁（町長）

- ① 合併後6年間で494件の取り扱いがあり、旧町時代からも同様に取扱ってきた。

- ② 今回、誤記の指摘を受け、県と協議し表記を改めた。

文書の記載方法については、議員との認識の違いはあるものの、これまで県と町とが共通認識を持ち、相互理解のうえ実施してきた。

- ③ その他の公文書で、間違いがあった場合の対応については、解決に向け、鋭意努力する姿勢で取り組むことが大切。

Q除雪対策は

A国・県と緊密な連携で



増井久美 議員

年末から元旦にかけての大雪で、県道も町道も積雪のため、車も人も通行難に陥った。「除雪が遅い」といった声があったが、町はどういった対策をとったのか伺いたい。

また、国道や県道も通行難のところが多々あった。国や県との連絡はどうなっているのか伺う。

また、各区で除雪ができず、消防車や救急車の出勤に対応ができないのではという声も聞かれた。

区によっては小型除雪機購入の検討をしている

ところもある。町として助成できないか伺いたい。

答弁（町長）

正月前後の大雪では、災害対策本部を立ち上げ町民生活に支障がないよう対応した。

しかし、国道・県道と

の除雪基準の違いからタイミングが噛み合わず支障が生じた。

今後は、緊密な連携を図りたい。

町内の狭道などの除雪には、町が保有する14台の除雪機で対応しているが、今年度さらに3台増設する予定。また、宝くじ補助金を活用し、4集落で6台の除雪機が配備される。今後、その他の地区での除雪機配備に対しては、町単独での補助制度も検討してみたい。



別所地区でフル稼働の小型除雪機

Q自然エネルギー活用は

A適切に進めていく

東日本大震災は、地震、津波、その上、原発という三重の災害をもたらした。その復興にはまだまだ時間がかかる。町は防災計画を立て耐震化も進めてきている



「泊小学校」に設置されている太陽光発電施設

が、今回の震災を受け、町として見直すところはないか伺う。

また、復興に大きな障害となっているのは原子力発電所である。原子力にたよらない自然エネルギー

ギー活用の方角に進むべきだと思うが、町長の考えを伺いたい。
当町の自然エネルギーの取り組みについても伺う。

答弁（町長）

今震災を教訓に、県では防災基準の見直しを行おうとしており、それと軌を一にして町でも見直しを図りたい。

また、地域の自主防災組織を増やし、日常の防災訓練の充実を図り実現できるようにしたい。

原子力発電の是非については、国政の場が判断すべきことだと思う。

地球環境にやさしい自然エネルギーへの取り組みについては、太陽光発電および地上風力発電には補助金の追加措置を行う。

それ以外に、温泉熱や洋上風力の活用も検討し、適切に進めていきたい。

Qさらなる町長の給料削減を

A実質10%カットをし、
町政に貢献



石井輝美 議員

然としない。さらに削減を。

答弁（町長）

平成22年度は医療費の急激な伸びにより、財源不足を補うため財政調整基金を取り崩し、23年度は5100万円を一般会計から繰り入れ、残

り3000万円余りを税率の改定によって対応した。

国保税は、加入世帯の人数や所得額により一割を超えるもの、超えないものがある。また、所得は同じでも国保税は健康保険料の二倍ということについても、一概にそうは言えない。

町長の給与は、平成19年4月から条例上の報酬額を3%引き下げた上で7%のカットをしており、実質10%のカットをし、今日に至っている。

Q堅岩墓地墓参りの安全対策を

A再度取り組んでいく

堅岩墓地に行くためには、警報機すら設置されていない鉄道を横断せざるを得ず、墓参りのための安全対策は住民の悲願だ。

JRは、住民がきわめて危険な状態で線路を横断していることを十二分に認識しておりながら、「線路をわたると危険です。安全な踏切を通行してください」と記した看板しか設置していない。

どの踏切を渡って、どのようなルートで堅岩墓地に行けと言っているのか問うとともに、警報機設置を強く申し入れていたきたい。

答弁（町長）

旧泊村時代からJRに要望したり、国交省ともいろいろ検討してきたが解決していない。

JRは泊駅から東側のトンネルまでの間に横断箇所が数箇所あるが、一

箇所の正規踏切以外の横断箇所は廃止したいとの意向で、快い回答がもらえない。

また、町道長清寺線の事業も用地承諾が得られず中断している。

堅岩墓地の問題は、道路の事業再開が大切であり、高齢化が進む泊地域の住民が安全で歩いて渡れることも大切である。再度解決に向けて取り組みたい。

19億5千万円の財政調整基金の一部を取り崩し、さらなる法定外繰入れによって国保税の引き上げを回避することができると反対したが、議会は賛成多数で可決。

その際、町長は、国保税は所得の一割を超え、健康保険料の二倍近くになる重い税金という認識を持っていなかったが、検討結果は。

町長は80万2千円の給料月額を昨年同様7%削減としているが、新たな負担増を町民に強いるのに例年通りの削減では釈



国保税は所得等により様々。



墓参りに危険な踏切

Q 財政運営などの見通しは

A 健全な財政運営に努める



光井哲治 議員

① 平成22年度町税の落ち込みはどれくらいなのか。交付税を含めて歳入の不透明な中で財政運営をどう見ているのか。

② 「湯梨浜町中学校統廃合検討委員会」報告を受けて、中学校統廃合をどうされるのか。

③ 東郷地区、私立保育園を含めた幼保統廃合をどうされるのか。

④ 指定管理施設の管理費見直し検討はされているのか。

⑤ 「公民館運営審議会」の諮問を受け、どのように結論づけるのか。

⑥ 雇用促進住宅を買い取り、町営にすることが正しい判断なのか。

答弁（町長）

① 平成22年度町税の総額は、約13億9千万円で、前年度比2・5%の減額で、大きな要素として個人町民税の減収がある。今後も、健

全な財政運営に努める。

② 町民との意見交換会などで、意見を伺い方針を決定したい。

③ 現在、「東郷地域の保育所・幼稚園在り方検討委員会」で議論を行っている。年内には委員会としての意見をまとめていただく。

④ 指定期間内の指定管理費は基本的には変更はない。

⑤ 住民の理解をいただきながら、早期の解決を図りたい。

⑥ 町営住宅

全体の今後のあり方を示し、早期に議会の同意を得て、取得手続きに入りたい。



指定管理されている「龍鳳閣」

議会改革と行財政問題調査に向けて 特別委員会を設置

6月定例会において2つの特別委員会が設置されました。

議会の組織機構及び議員定数・報酬の見直し、議会の活性化、調査機能の強化を図り、議会基本条例の制定に向けての調査研究を行うことを目的に、「議会改革基本問題調査特別委員会」を設置しました。

また、本町の行財政の健全化・効率化など行財政に係る諸問題をあらゆる角度から調査研究することを目的に、「行財政問題調査特別委員会」を設置しました。

議会改革基本問題 調査特別委員会

委員長	会見 祐子
副委員長	浜中 武仁
委員	石井 輝美
〃	光井 哲治
〃	吉村 敏彦
〃	増井 久美
〃	河田 洋一
〃	酒井 幸雄
〃	平岡 将光

行財政問題 調査特別委員会

委員長	竹中 壽健
副委員長	上野 昭二
委員	吉田 礼治
〃	寺地 章行
〃	松本 繁
〃	入江 誠
〃	浦木 靖
〃	前田 勝美

議会全員協議会

6月17日 開催
6月23日



町ホームページ
で動画配信中

6月定例会の初日と最終日に全員協議会を開催。
ここでは主な協議の内容について、Q & A方式により掲載します。

消防設備、補助金から負担金方式へ

Q 町の消火栓・防火水槽整備の地元負担は、消防法・消防組織法に反するのでは。

A 法律違反ではない。政令で定める通知は努力目標である。
補助金方式で地元への補助金交付をしていたものを、負担金方式に切り替える。

Q 今後、「消防水利の基準」を満たす箇所に、地元の要望で整備する消火栓の設置、維持管理、移転・更新の負担は。

A 消火栓を地元の要望で設置、移転・更新するときは、地元の負担。
維持管理は、町が負担する。



地下式の防火水槽

Q アナログ放送終了に伴い、ケーブルテレビ加入者、特に高齢者は、BSを見ないのにアンテナを設置するなど勘違いしている人が多いようだ。

A 職員が出向いて地区説明会を行っている。TCCでもパンフレット等で周知しており、再度町報にも載せる。もっとPRしていきたい。

Q 現在、工事発注から引渡しまでを各担当課で行っているが、県のように専門部署を設け一括管理する方法がよいのでは。

A 職員でできないから施工管理を委託している。
職員の中で、建築士は、一人もいないという実態であり、何年かに一回あるかの工事のために雇用するのはどうかと思う。

常任委員会 審議内容

総務産業常任委員会

6月22日

Q PCB収集運搬業務は、なぜ今まで放置していたのか。

A 泊支所4階機械室にあるものを撤去する。今まで処理順番が回ってこなかった。

PCB含有高圧コンデンサ3台分の処分先は、北九州市にある。



普及が望まれる住宅用太陽光発電

Q 住宅用太陽光発電システムは、どれくらいの普及率か。

A 設置補助金は、平成16年から累計53件で、1%あるかないかである。

※PCB：ポリ塩化ビフェニールの略称で、工業的合成された油状の物質。電気機器の絶縁油や熱媒体などに使用されてきた。

「町内業者の保護育成への請願書」

請願事項

1. 町が発注する公共工事や業務委託において、町内業者の差別化をはかり、町内業者を最優先に取り計らって戴きたい。
2. 随意契約物件や緊急性の高い工事は、町内業者へ発注して戴きたい。
3. 町外業者が参加する場合、現場説明書文中に『下請けには

町内業者と契約するよう』明記して戴きたい。

「町道門田長江中央線の冠水に関する請願」

請願事項

降雨時に道路が冠水し中央付近に設置しているゴミ収集場に行くことも、ゴミ収集車も入れない。道路が冠水しないよう改修を。

※請願審査結果は、13ページに記載。



町ホームページで動画配信中



「町道門田長江中央線」の現地調査

Q 幼保一体化施設新築工事、地盤改良工法の変更で約1千万円の増額となる。事前調査等

は妥当であったか。

A ポーリング調査を実施した時点では、腐植土は少量であり、強度試験の結果も十分だったので妥当だった。

工事に入った後に強度不足が判明したので、土を入れ替えて強度を出すように工事を追加した。今後はより丁寧に事前調査を行うようにする。

Q 建築工事等、行政のチェック体制が不足しているのでは。

現状の職員体制では管理監督できないので、業者に委託している。関係課等と協議しながら体制を検討したい。

A 現状の職員体制では管理監督できないので、業者に委託している。関係課等と協議しながら体制を検討したい。

現状の職員体制では管理監督できないので、業者に委託している。関係課等と協議しながら体制を検討したい。



音声告知機に緊急通報機能を追加

Q 音声告知機に機能追加して見守りの要素が加わるが、従来の見守り隊等にかわるものになるのか。

見守りの形の一つとして、あらかじめ登録した人に通知文を流したり、緊急時にはボタンを押すと登録した番号に電話がかかるようになる。

A 見守りの形の一つとして、あらかじめ登録した人に通知文を流したり、緊急時にはボタンを押すと登録した番号に電話がかかるようになる。

安否確認の方法の一つである。現在ある見守り隊等も今まで以上に強化していきたい。

現在ある見守り隊等も今まで以上に強化していきたい。

Q 学校支援ボランティアとはどのようなものか。

子育ての基本は家庭教育であるが、現実問題としてそれが難しい。地域一体となって子どもたちを育ていく目的で、各学校でどのような支援が必要か聞きながら配置していく。

A 子育ての基本は家庭教育であるが、現実問題としてそれが難しい。地域一体となって子どもたちを育ていく目的で、各学校でどのような支援が必要か聞きながら配置していく。

指導者というより見守りのような形で教育をサポートしていただく。

Q 遠距離児童生徒通学費補助とは。

東郷地区では、羽衣石、十万寺地区の児童生徒に対して、自宅からバス停まで（バス通学）、1kmあたり18円で計算して年額を補助している。

平成22年度は年間245日開館で、浜児童館の利用者数は3,031人。田畑文化会館、児童館は合わせて15,458人。

児童館の利用者は減少傾向だが、放課後児童クラブとの関係を含めて、どう考えておられるか。

特に浜児童館では、平日の利用者が少ない現状がある。ただ、休日は地区外からも子どもたちが来ている。羽合小でチャリを配るなどして周知していきたい。

放課後児童クラブとの違いとして、中学生までを対象としており、異年代交流ができるという面もある。利用者増加に向けて努めていくが、今後のあり方について検討していく。

議会運営委員会

行政視察

7月7日～9日

宮城県石巻市

大規模被災の現状と今後の取組みについて



被害説明を受ける（石巻市役所）



川岸に取り残された大型漁船

詳しい報告は、次号の議会だよりに掲載予定です。

平成22年度医療費急増により 国保税率・課税限度額を引き上げ

第6回臨時会

第6回臨時会が5月27日に開催されました。
条例の一部改正ほか1件の町長提出議案について審議採決が行われ、原案どおり可決されました。

☆専決処分の承認を求めることについて（町税条例の一部改正）

東日本大震災により被害を受けた住宅・家財等について、平成23年度以後の町民税・県民税の雑損控除等の特例の適用等を定めるもの。

☆国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の賦課限度額を改正するもの。



（医療分50万円→51万円、後期高齢者支援金等分13万円→14万円、介護納付金分10万円→12万円）
国民健康保険税の税率等を改正するもの。
（医療分・所得割6・1%→6・6%、均等割21,000円→25,000円、平等割20,000円→21,000円等）

第8回臨時会

代表監査委員決まる

第8回臨時会が7月13日に開催されました。
町長提出議案1件について審議採決が行われ、原案どおり可決されました。

☆湯梨浜町監査委員の選任につき同意を求めることについて

次の方の選任に全会一致で同意しました。
（敬称略）

磯江 俊二

（上浅津）

任期は平成23年7月13日から平成27年7月12日までの4年間。



代表監査委員
磯江 俊二氏

☆議会の委任による専決処分の報告について
公用車内人身事故による損害賠償に係る和解及び損害賠償の額を確定し、同意しました。

☆湯梨浜町農業委員会委員の推薦について

農業委員会等に関する法律第12条第2項の規定による議会が推薦する委員について、次の4人の方を全会一致で決定しました。
（敬称略、順不同）

佐々木 素子

（長和田）

藤井 亮子

（原）

小谷 栄一

（はわい長瀬）

足立 憲信

（はわい温泉）

行政視察 受け入れ

滋賀県守山市議会

・5月26日

調査事項

東郷湖活性化プロジェクトについて

京都府伊根町議会

・7月6日

調査事項

人口増加対策について



京都府伊根町議会視察

一般質問を傍聴

議会傍聴の感想



緊張した面持ちで傍聴する生徒たち

総合的な学習「ふるさとを知る」の一環で、東郷中学校1年生55名が6月20日に行われた一般質問を傍聴に來られました。すこし緊張した面持ちで、全員が質問・答弁を熱心に聞き入っていた姿が印象的でした。感想を紹介します。(敬称略)

傍聴初体験

東郷中学校一年生に鮮烈なインパクト

「議会って、すごいよ!」

「議会を傍聴して」

会見 勇斗

ぼくが湯梨浜町議会を傍聴して驚いたことは、一つの議題に対して意見がなくなるまで一つの質問の内容をより深めて考えていくというのがすごいと思いました。

ぼくは正直、議会の内容はわからなかったけど、湯梨浜町のためという思いは伝わってきました。

話し合いのときなどに議会を傍聴して学んだことを生かせたらいいと思います。

たくさんの方の住民に関わることなので一つの議題に時間をかけて決断しないといけないと思いました。

「議会のほらって、大切だ」

磯江 祐二

議会を傍聴して心に残ったことは、町民のことを考え、今問題になっていること、自然災害のことなどしっかりと考えてくださっていることです。

この議会があるのでもっとも安心して暮らすことができているんだなと思いました。

このことで湯梨浜町をいい方向に変えていこうと努力してくださっているのだなと感じました。

議会を傍聴して勉強になったことは、難しい問題などは多くの方が話し合うことでいろいろな意見が集まってくるということが分かりました。

「議会の緊張感」

鹿田 真由

傍聴に行って、とても議員の方の発する言葉と雰囲気印象的でした。

雰囲気がつづいて静かすぎてこっちも緊張するくらいでした。

そういう雰囲気の中で議員の方が自分の意見を淡々と述べておられたことが心に残りました。

災害のとき、私たちのような弱い立場の人のことも考えてくださっていることもわかりました。

傍聴して、難しい言葉が多くてわからないこともあったけど、メモを参考に調べて、今後の学習に生かしていきたいです。

「議会を傍聴して」

志田まなみ

私は議会を傍聴して、湯梨浜町をよくするためにやってもらえてすごいなと思いました。

防災のことから福祉のことまで考えてくださっていました。「健康ゆりはま21」では町民が健康に暮らすための質を向上させて、寿命を長くしていく取り組みで、この活動で私も健康でいるためにも参加していきたいです。

その他介護サービス、ホームページを作り、啓発活動をしていました。町ではよりよい生活ができるため議会をして、行事や相談室を作ることが分かりました。

「議会の一般質問を見て」

森 誠貴

議長が質問を許してから指名された人が質問していました。

議員さんの説明では、議会で知らないことは質問せずにあらかじめ調べて、議会に出て質問するようになっています。

町長は具体的な数字や記録で説明していました。

印象に残ったのは、質問と説明が何回も繰り返し合っていたことです。町民のためにこんなにしてるので、すごいと思いました。

「議会を傍聴して思ったこと」

小谷 双葉

私が一番思ったことは、内容もだけど、たくさんの方の前で自分の意見や考えを言うことがすごいと思いました。私も自分の意見をしっかりと伝えるようになりたいです。

内容で思ったことは、それぞれの計画に目標を決めてその目標に向かって活動していることです。

議会の目標は、自律する社会を目指すことと、笑顔いっぱい町づくりをすることです。

その目標を達成するには、湯梨浜町全体で行動することが大切だと思います。



請願・陳情審査

6月定例会において常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

◆請 願

件 名	請 願 者	紹 介 議 員	審査結果
町内業者の保護育成への請願書	湯梨浜町建設業協議会 会長 山 口 芳 治	上野 昭二 浜中 武仁 吉田 礼治 光井 哲治 増井 久美 河田 洋一 平岡 将光 会見 祐子 酒井 幸雄 竹中 壽健 吉村 敏彦	採 択
町道門田長江中央線の冠水に関する請願	門田区公民館長 生 田 明 英	平岡 将光	趣 旨 採 択

◆陳 情

件 名	陳 情 者	審査結果
中学校で使用する新しい教科書の採択に関する陳情	教育を考える鳥取県民の会 代表 草 瀬 宜 輝	継 続 審 査
最低賃金の引き上げと制度の抜本改正を求める意見書採択の陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田 中 暁	趣 旨 採 択 (14/16)

【注】 (○/△) は、起立採決における (賛成/議長を除く出席議員数) の割合を表示。他は全員異議なし。

「湯梨浜町に賑わいを」

とっとりどまんなかフェスタ実行委員長 八代 慎さん



「鳥取県の文化のPRと交流」をメインテーマに、湯梨浜町内で毎年開催して来ました「とっとりどまんなかフェスタ」もいよいよ今年で5回目となります。



熱気あふれるホールステージ

毎年幅広い年齢層の方が実行委員として参加し、ステージ出演者・創作出展者も県内にとどまらず、県外からもたくさん参加していただけるようになりました。

また、地元湯梨浜町の住民の方からは、実行委員として大勢参加している鳥取県立保育専門学院の生徒さんやステージ出演者など、大勢の若者が湯梨浜町に集まることで活気が出て元気をもらっていると感じただけのようになりしました。

「まちづくりステップ事業」の助成をいただき、地道に続けてきました。おかげさまで「どまんなかフェスタ」の愛称でかなり広く認知されるように



子どもに大人気

なりましたが、もったなくさんの町民の方に足を運んでいただきたいと思います。

そのために町民の皆様のご意見をいただきながら、楽しさがあふれる笑顔いっぱいイベントにしていきたいと思っています。今後より一層のご支援をよろしくお願いいたします。

議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎ 35-5341

メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

編集後記

東郷中生徒の皆さんが、議会傍聴の感想文を書いてくださいました。

わずかの時間の中で、これだけの意図をくみ取り、きちんと感想を書いていただいたことに敬意と感謝を申し上げます。

この生徒さんたちに胸を張ってわたせる湯梨浜町を創るため、さらに努力をせねばと改めて思いました。

さて、この議会報が出る頃には動画で、各種委員会や、全員協議会など、ケーブルテレビでは配信できなかった部分が見せられると思います。ぜひ、ご覧ください。

(記 増井)

議会広報調査特別委員会

委員長	上野昭二
副委員長	増井久美
委員	会見祐子
〃	吉村敏彦
〃	河田洋一
〃	浜中武仁